



公共施設は『消滅』するのか？

～自治体の公共施設再編を考える～

政府の「公共施設等総合計画策定指針」を受けて、全国の自治体で取り組まれている「公共施設再編計画」について、第一線の研究者が財政・都市計画・人口減少社会の視点から語ります。



◆公共施設白書から見える施設運営と財政の課題

大和田 一紘 (NPO法人多摩住民自治研究所理事長)



◆都市計画プランナーから見た公共施設計画

野口 和雄 (野口都市研究所代表取締役)



◆人口減少社会と公共施設—そもそもから考える

池上 洋通 (自治体問題研究所・主任研究員)

大好評です！政党会派にこだわらず、だれもが参加できる議員の学校です

第一線の研究者が、実際例をあげながらわかりやすく語ります

東日本大震災の現場からの報告が心をうちます

講師と参加者とのシンポジウム—笑い声があふれます

率直な懇親と交流で、自治体をこえた結びつきが生まれます

日時 2014年8月23日(土)Pm1:00～24日(日)Pm3:30まで

会場 たましん RISURU ホール第1会議室 JR 中央線立川駅南口徒歩 13 分

TEL: 042-526-1311 (東京-立川 快速電車で 50 分、中央特快で 41 分)

受講料 28,000 円 町村議員 25,000 円 / 多摩住民自治研究所会員 23,000 円 (表示価格は消費税込)

*被災県(岩手県・宮城県・福島県)の方は 10,000 円

定員 70 名

主催 NPO 法人多摩住民自治研究所 〒191-0016 日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL042-586-7651 Fax:042-514-8096 E-mail:tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp URL <http://www.tamaken.org>

議員の学校 第18回

8/23
(土)

12:30 受付開始
13:00 開会のことば、ガイダンス
13:15 講義1 大和田一紘
15:00 休憩
15:15 講義2 野口和雄
17:00 休憩
17:15 実践報告～東日本大震災の現場から
18:15 休憩・移動
19:00 食事・交流

8/24
(日)

9:30 講義3 池上洋通
11:00 休憩
11:15 実践報告～公共施設計画とわがまち
12:15 休憩・昼食
13:15 シンポジウム
大和田一紘、野口和雄、池上洋通
15:15 修了証の伝達
15:20 次回学校開催計画の伝達
閉会のことば
15:30 解散

1日目●8月23日(土)

◆講義1 13:15～15:00 (講義90分・質疑応答15分)

「自治体財政から見た『公共施設再編』の課題」

講師：大和田 一紘 (NPO法人 多摩住民自治研究所理事長)



現在ある公共施設をすべて更新しようとする、財政が破綻する恐れがあり、財政を維持するために更新を先送りすると、住民の安全が脅かされます。老朽化した公共施設を廃止すると、住民が享受しているサービス水準やいままあるコミュニティ形成の低下を招いてしまいます。ではどのように打開していけばよいのかを大都市圏、人口減少及び合併したそれぞれの事例をあげながら考察します。

■講師は 1943 年青森県生まれ。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。東京都自然環境保全審議会委員、東京都環境科学研究所研究員、中央大学社会科学研究所客員研究員、埼玉大、法政大、都留文科大等を歴任。多摩学会と日本環境学会に所属、専門は環境教育、環境政策、まちづくり論、地方自治、地方財政。
■著書 『習うより慣れろの市町村財政分析』(単著)、『市民による市民のための合併検証』(編著)、『広域連合と一部事務組合』(共著)、『市民が財政白書をつくったら……』(編著)他多数。

◆講義2 15:15～17:00 (講義90分・質疑応答15分)

「都市計画プランナーから見た『公共施設計画』」

講師：野口 和雄 (野口都市研究所代表取締役)



人口ボーナス社会から人口オーナス社会への転換に伴って地域社会が変わりつつあります。特に、少子化、高齢化、家族形態の変化、さらには人口減少、空家の増加に伴って地域施設の果たす役割もまた変容してきています。一方、行政は、公共施設の再配置に着手しはじめています。このような中で、都市計画やコミュニティ計画の視点から地域施設の配置や管理運営をどうすべきか考えます。

■講師は 1953 年神奈川県生まれ。都市プランナー、法政大学現代法研究所研究員、横浜商科大学兼任講師、野口都市研究所代表。自治体の総合計画、都市マスタープラン、景観計画等の策定、まちづくり条例や自治基本条例などの自治立法、中心市街地や商店街の再生、再開発や区画整理などの事業などにかかわる。
■著書 『市民のためのまちづくり条例のデザイン』(2012 Unibook)、『まちづくり・都市計画なんでも質問室(改訂版)』(2012 ぎょうせい)、『都市計画法改正-「土地総有」の提言』(2010 第一法規)他多数。

◆実践報告 17:15~18:15 (報告 60分)

東日本大震災の現場から～岩手・宮城・福島～

自治体の議員から、被災地の現状と直面している課題について、ご報告していただきます。

◆懇親交流会＜自由参加＞19:00~21:00

夕食会をかねて、参加者と講師が自由に語り合う会です。*別途、お申込みが必要です。

2 日目 ● 8 月 24 日(月)

◆講義 3 9:30~11:00 (講義 90分)

「人口減少社会と公共施設—そもそもから考える」

池上 洋通 (自治体問題研究所・主任研究員)



保健・医療施設、社会福祉施設、教育施設、鉄道、道路、上下水道、公園、消防…。私たちは公共施設なしに一日も生活できません。ではそれらは、どのような原則の上に置かれているのでしょうか。その建設や維持管理について、国・都道府県・市町村の責任分担はどう考えるべきなのでしょうか。

人口減少や高齢化が現実のものになっているとき、地方自治体のあり方として公共施設政策を基本原則から見つめ直す—その第一歩から語ります。

■1941年静岡県生まれ。講師は、自治体職員、研究機関常勤役員、大学講師などの経験を持つ地方自治理論・政策の実践的研究者で、全国各地で数多くの講演や研究活動を行ってきました。著書・論文は、地方自治体論、地域分析をはじめとして、保健医療、社会福祉、教育、防災など、地方自治体の政策の全分野にわたっています。

■著書 「大震災 復興へのみちすじ」共著 (2011 自治体研究社)、「市町村合併・これだけの疑問」(2001 自治体研究社)、「人間の顔をしたまちをどうつくるか」(1998 自治体研究社) ほか

◆実践報告 11:15~12:15 (報告 60分)

「『公共施設計画』とわがまちの取組み」

～公共施設等総合計画策定指針を受けて～

大都市圏、合併自治体、人口減少に直面している自治体などの市町村議員から、「公共施設計画」について、計画策定の現状や計画内容を住民生活・まちづくり・財政等の視点から、ご報告いただきます。

◆シンポジウム 13:15~15:15 (全 120分・質疑・休憩含む)

公共施設は『消滅』するのか？

* 2日間の講義についての質問をお受けするほか、公共施設をめぐる課題について、討論します。

多摩研
第18回
議員の学校
申込み方法

[参加費] 28,000 円 (表示価格はすべて消費税込)

* 町村議員 25,000 円 / 多摩住民自治研究所会員 23,000 円

* 被災地の岩手県・宮城県・福島県の方は 10,000 円

* ご宿泊はご自身でお手配ください。

下記の申込書を FAX または e-mail でお送りください。

FAX : 042-514-8096

e-mail: tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp

FAX またはメールで受講希望を受け付け次第、受講案内、郵便振替用紙、宿泊施設案内等をお送りします。参加費などの納入確認をもって申込み受けとします。

多摩研 第18回 議員の学校

参加申込書

■ 氏名(フリガナ)	男 ・ 女	歳	■ 自治体・議会名
			(在任 期目)

■ 住所 〒 □□□-□□□□

■ 領収書の宛て先(名称)

■ e-mail @

■ 自宅 TEL □□□□-□□□□-□□□□

■ 自宅 FAX □□□□-□□□□-□□□□

■ 携帯電話 □□□□-□□□□-□□□□

■ 所属 多摩研会員 町村議員

■ 企画や内容へのご希望等お書きください

会場へのアクセス

たましんRISURUホール第1会議室

東京都立川市錦町 3-3-20 TEL042-526-1311

立川駅南口よりすずらん通りを直進。徒歩 13 分。

●東京駅から

JR 中央線で立川駅まで快速電車で 50 分、中央特快で 41 分、620 円。

●新横浜駅から

JR 横浜線で八王子乗り換え、中央線(新宿方面行)で約 52 分、780 円。

●大宮・浦和方面から

南浦和から JR 武蔵野線で西国分寺駅乗り換え 44 分、540 円。

